

# 困窮家庭 学生服で支援



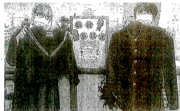
大垣自動車学校(大垣市荒川町)と大垣南自動車学校(養老町祖父文江)は、不要になった中学や高校の学生服を売却してもいい、寄附品の買い取り金額を、困窮家庭の支援に活用する活動に取り組んでいる。校内に回収BOXを設置し、生徒らに協力を呼び掛けている。

## 子ども食堂などに売却金活用

回収した制服は、同運動に協力している中古服専門店へ送り査定、その買い取り金額が同運動の基金に寄付され子ども食堂などの支援に使われる。制服は専門店でもリフォームされ、安価に販売される。

回収BOXに寄せられた制服(大垣市荒川町、大垣自動車学校)

## 大垣と養老の自動車学校、回収箱設置



回収箱で制服の寄付を募集している

大垣自動車学校(本社大垣市、岡田正昭社長)は高校や中学校の卒業生に「BOX」に合わせ、不要となった制服を回収し、買い取り査定額を政府が進める「子供の未来応援国民運動」の準備に寄付する取り組みを開始した。この取り組みは県内の自動車学校で初めて。寄付金は子ども食堂など、困窮家庭の支援に使用される。(大垣)

大垣自動車学校が回収箱設置、寄付募る

## SDGs 推進へ 制服をリユース

回収額を大垣自動車学校(大垣市)と大垣南自動車学校(養老市)の2校の収入増に繋ぎ、広域に設置し、1白から寄付の募集を始めた。回収後は中古服専門店へ買い取り金額を寄付し、子ども食堂などへ寄付する。買い取り後の制服は、中学生や高校生への制服としての活用も期待される。寄附品は多量の方で協力した企業から文庫品やお礼状を贈る。

制服寄付の募集はSDGs(持続可能な開発目標)の「資源をなくさない」「買の高いい教育をみんなに」「つくる責任つかう責任」に取り組み、その一環で実践に苦しみ子どもを社会全体で支える「子供の未来応援国民運動」に賛同。中学、高校の卒業シーズンとなる今月から制服回収を始めた。

Gs(持続可能な開発目標)の「資源をなくさない」「買の高いい教育をみんなに」「つくる責任つかう責任」に取り組み、その一環で実践に苦しみ子どもを社会全体で支える「子供の未来応援国民運動」に賛同。中学、高校の卒業シーズンとなる今月から制服回収を始めた。

岡田社長は「母校の利用者の8割は高校生なので、多くの方に協力いただきたい。最終的には回収した制服を自社で手直しして地元へ再販寄付することを目標としている」と話している。